

地域再生 協議会だより

事務局 二宮町百合が丘 2-29-6 (百合が丘老人憩いの家内) *電話設置手続き中

山百合の公開、7月末に4日間 地区内有志が遊歩道を整備

一色小学校区地域再生協議会は7月23日(土)、24日(日)、30日(土)、31日(日)に一色小裏山の山百合群生地を一般公開することを決めた。同協議会友情の山部会(岡村昭寿部会長)が二宮町、一色小などと話し合いを進めていたもので、一般の人の校内裏山への立ち入りが計画的に行われるのは初めてのこと。公開時間は4日間とも10時~15時とし、期間中は友情の山部会が中心になって入場者を誘導する。

一色小友情の山の山百合群生は希少性が高いと見られているが、一般公開は見送られてきた。百合が丘自治会が創立事業の一環として公開に向けた調整を進めていたが、一色小学校区地域再生協議会の発足に伴いその業務を引き継いだ。一般公開の時期は子供たちへの影響も考慮し、夏休み期間に設定した。公開時の入場は正門、東門とし、駐車場は設けない。

同協議会友情の山部会は公開に先立ち、6月11日(土)には、地区内ボランティアによる群生地内の遊歩道整備を行った。当日は百合が丘1-3丁目、緑が丘、一色地区から各5-10人、総勢約40人がスコップなどを持って参加。専門家の指導を受けながら、擬木の埋め込み、安全ロープ張りなどを行った(写真)。



この一般公開は、同協議会の実質的な第1号事業であり、なおかつ広範の方々にも知ってもらう必要があることから、PRにも力を入れる。二宮町の協力を得て町内全域にイベント紹介の回覧を回すほか、主要な場所に広報掲示する予定。回覧ポスターの制作は、全国的な注目を集めている二宮町の紹介動画「菜の花畑のニーノ」を手掛けたササキワカバさん(百合が丘在住)に依頼しており、6月末には町内全域に回覧される。

協議会事務所、百合2に開設

一色小学校区地域再生協議会は、百合が丘2丁目の老人憩の家(旧館)に専用事務所を開設

した。2丁目老人憩の家の受付事務室の一角を事務スペースに改装し、PC、プリンター、電話機、収納棚などオフィス用品を整備する。同事務所は原則、火曜、金曜の午前中に事務担当者が常駐する。電話番号などの確定は6月末になる見込み。

なお、30日（木）には同事務所で同協議会の部会長会議を行い、事業計画書の作成、広報体制、活動経費の会計処理などについて話し合う。

各部会、相次ぎ立ち上げ

5月末の一色小学区地域再生協議会で発足を決めた6つの事業部会が、次々と活動を開始した。最も先行しているのは**友情の山部会**（岡村昭寿部会長）で、6月8日（水）の初部会で一色小裏山の山百合公開計画の進捗状況を確認するとともに、公開に至るまでの準備作業などについて協議した。正式部会の合間を縫って小さな打合せなどを重ねており、6月11日（土）の地区内有志、二宮町関係者による遊歩道整備作業も想定通り終えている。

地域福祉部会（岸野修部会長）は6月10日（金）、百合が丘児童館で初会合を開いた。公募による参加者、町健康福祉部、町社協関係者を含めた16人がメンバー。各地区社協、自治会の福祉活動の現況を紹介するとともに、地域福祉は町の今後の施策の影響を受けるとの判断から、地域包括ケアシステムに関する町の方針について説明を受けた。次回以降、これらをもとに議論を深めていく。

県公社部会（薮健夫部会長）は6月5日（日）、小田原市小竹にある公社所有地を使った田植え体験イベントを行った。小雨模様にもかかわらず、親子連れ約40人が参加し、もち米の早苗を植えた。田植えはほとんどの人が初めてだったが、地元農家の指導に従って農業体験を楽しんだ（写真）。同部会では、今秋には同じ場所での稲刈り、収穫祭の開催も計画している。

このほか、団地商店街にある店舗を使った共同キッチンについての事前打ち合わせも進んでいる。店舗活用希望者と公社は6月末までに3回の打ち合わせを行っており、7月にはこれらを整理したうえでさらに幅広い呼びかけをし、分科会を発足させることを検討している。

古民家活用部会（井上勝夫部会長）は当面、旧ふるさとの家の設備改修を中心に活動する見込みで、運営管理、イベント開催などにどう取り組むかを検討中。

文化イベント振興部会（三輪太一部会長）は10月末に一色小体育館で開催する音楽イベントの運営にめどをつけたうえで、来年以降の展開について話し合う。



地域課題検討部会（廣上正市部会長）も、公募を含めた部会メンバーの確定を終え、7月5日（火）に初会合を開く。当面、自由な意見交換を重視し、外部講師を招いた検討会の開催なども予定している。